

AI進化への企業対応

Q. 今後AIの進化が予想される中、企業としてはどのように対応すればよいか？

要旨 AIとは、Artificial Intelligenceの略で、人間が行ってきた知的な作業や判断していたことをコンピューターに行わせる技術のことを言います。自動運転技術など、IT企業や大手自動車メーカーが開発・導入しているイメージがありますが、既に中小企業や店舗の現場にも導入されています。2020年4月より働き方改革法の中小企業への適応が開始されます。生産性の向上だけでなく、人材採用が困難になる今後を見据え、事例把握やIT補助金の利用等についての情報をしっかり収集し、取引企業へ適応できるものについては、導入を図っていくことが求められます。また、中小企業の経営者のAI導入に対する意識調査も把握しておくといよいでしょう。

解説

1. 中小企業の導入事例を把握

・IT補助金の導入事例 <https://www.it-hojo.jp/applicant/casestudies.html>

これまで、人力で行っていたデータ分析や情報整理をRPA（Robotic Process Automation）を導入し、工数を削減できるケースや工場の最終検品工程をカメラ利用して判断するケースなどが紹介されています。その他、TVメディアでも紹介されていた、パン屋の会計時、パンをカメラで自動認識し、レジ打ちの時間を短縮するシステムもあり、身近な企業や店舗にも導入が進んでいます（<http://bakeryscan.com/>）。まずは、最新の事例を収集し、要望された顧客へ提示していくことが重要な取り組みとなります。

2. 何を自動化・AI化していくのかを経営者と一緒に考える

取引企業の業務フローを経営者と一緒に分解し、どの作業工程でどれくらいの工数がかかるのかを把握して下さい。前述のパン屋のケースでは、陳列されたパンを顧客

がトレイに置いてレジにて精算。レジ担当がパンを見ながら値段をレジに打ち込みます。パンの数が多ければ、会計までの時間も増加。そこで、レジ工程をAI化することで、お客様を待たせることなく、かつ見間違いやレジ打ちのミスも無くなり生産性も向上します。

このように、時間がかかっている工程を明らかにし、AIに変われないか？を考えることが重要なポイントです。この他、熟練の技が必要なことも候補に挙がる可能性もあります。前述の事例で、最終検品をAI化することで、人材育成の時間を短縮できることになります。従来の業務工程をお取引企業と一緒に見直し、AIをはじめ、IT化していくことで、生産性も高まり、業績の向上に一役買うことになると思われます。

AI 導入の第一歩は何に時間がかかっているのかを把握すること

＜ご提案のポイント＞

- ・最新の中小企業の AI 導入事例を把握することで、自社に活かせるヒントを得る
- ・自社の業務工程を可視化し、AI や IT 技術に置き換えした場合のメリットを考えると導入するか否かの判断が行える

1. 中小企業でも AI 導入は進みはじめている

中小企業の経営者は、2020 年 4 月以降の「働き方改革法案」の適応、人材採用難による、人手不足対応と、生産性を向上していかなければならない現状に直面しています。

IT 化をはじめ、AI（Artificial Intelligence の略 人工知能）の中小企業導入事例の把握をお勧めします。

IT 補助金 HP 導入事例 <https://www.it-hojo.jp/applicant/casestudies.html>

このほか、「中小企業 AI 導入事例」と検索サイトで検索頂くと様々な事例が出てきます。

これまで、時間をかけて従業員が行ってきた業務を、IT や AI に置き換えることで、生産性が上がり、かつ人間だけしかできないことに注力できるようになるケーススタディが多数ありますので、参考にして下さい。

2. 会社の業務フローと工数を可視化し、代替手段を考える

導入事例を見ても、会社の規模や、取り扱っている商品・サービスが全く同じ例はありませんので、同じ仕組みを導入することは不可能です。

そこで、自社の日々の業務や、売上として計上できるまでのフローをまず書き出します。次に各業務を誰が担当し、その担当者の経験年数、業務完了までの時間を調査。一人が全てを担当している場合も、同様の作業をしてみます。「時間がかかっている」「経験年数がないと担当できない」業務について、AI を含む IT 化によって時間短縮もしくは削減できないか？を検討します。例えばパン屋のレジ作業の AI 化です。通常、パンをレジ担当が一つずつ目視で確認し、値段をレジに打ち込みます。この作業をカメラで認識させ、一括で値段表示しお客様が自ら料金を支払う。その間に持ち帰り用に袋詰め。こうすることで、レジ待ち時間を短縮させ、お客様へのサービス向上とスタッフの生産性向上を実現させています。何に時間がかかっているのか？を把握することが AI 導入の第一歩です。



パン屋レジの AI 化